



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エー・アンド・デイ
コード番号 7745 URL <http://www.aandd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 森島 泰信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 貞雄 (TEL) 048-593-1111
四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,944	△4.1	△596	—	△747	—	△578	—
28年3月期第1四半期	8,285	4.4	△565	—	△577	—	△467	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,129百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △234百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△27.08	—
28年3月期第1四半期	△21.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	41,477	13,146	31.4
28年3月期	44,116	14,427	32.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,042百万円 28年3月期 14,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,940	1.4	△260	—	△470	—	△390	—	△18.25
通期	42,000	4.3	1,900	66.1	1,570	54.7	980	118.5	45.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	22,459,300株	28年3月期	22,459,300株
29年3月期1Q	1,091,280株	28年3月期	1,091,280株
29年3月期1Q	21,368,020株	28年3月期1Q	21,368,053株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては個人消費の弱さに加え、円高基調が定着してきたことで、企業業績に下振れ懸念が強まるなど、停滞感が続きました。

一方、米国や欧州、中国等においては、それぞれ緩やかな拡大となったものの、ロシアにおいては引き続きウクライナ問題による経済制裁に端を発した景気低迷が続き、更に英国のEU離脱問題や中国及び新興国経済の下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,944百万円(前年同期比4.1%減)、営業損失は596百万円(前年同期は営業損失565百万円)、経常損失は747百万円(前年同期は経常損失577百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は578百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失467百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①計測・計量機器事業

日本においては、計量機器では前年同期には無かった工業計測機器の売上が加わったことで売上を伸ばし、また計測機器ではA/D・D/A変換器や電子銃等で売上を伸ばしました。これに対し、計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)は受注が堅調となったものの、売上は伸び悩みました。

米州においては、特に計測機器が現地通貨ベースで売上を落としたことに加え、前年同期と比べ米ドルの価値が円に対して下がっていることから、円換算額の売上高が減少いたしました。

アジア・オセアニアにおいては現地通貨ベースで売上を伸ばしているものの、円の価値が相対的に上がっていることから円換算額の売上高が減少いたしました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は4,795百万円(前年同期比6.1%減)、営業損失は438百万円(前年同期は営業損失300百万円)となりました。

②医療・健康機器事業

日本においては、医療機器・健康機器とも売上を伸ばしておりますが、原価率の悪化により減益となりました。米州においては、前連結会計年度に設立したカナダの子会社の売上が加算されたことで売上を伸ばしました。

欧州においては、現地通貨ベースでの売上高は伸びたものの、前年同期と比べ露ループルの価値が日本円に対して下がっていることから、円換算額での売上高が前年同期比で大きく減少いたしました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は3,149百万円(前年同期比1.0%減)、営業損失は59百万円(前年同期は営業利益116百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は41,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,638百万円減少いたしました。これは、投資その他の資産の繰延税金資産が増加したこと等により固定資産が59百万円増加したものの、主に受取手形及び売掛金の減少により流動資産が2,698百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は28,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,357百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金や賞与引当金の減少等により流動負債が930百万円減少したこと、及び主に長期借入金の減少により固定負債が427百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,281百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失、及び配当金の支払によって利益剰余金が減少したため、株主資本が728百万円減少したことに加え、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が543百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想は、主に為替レートを見直すことで修正いたしました。今回の業績予想で前提とした為替レートは、1米ドル105円、1露ルーブル1.65円（前回発表予想では1米ドル115円、1露ルーブル1.70円）であります。

前提とした為替レートは、前回発表予想では前連結会計年度の為替動向を踏まえ当連結会計年度を見通したものでしたが、当第1四半期連結会計期間の初めより円高傾向が見られ、昨今の世界情勢から当連結会計年度は他通貨に対して相対的に円高が続くと判断し、見直したものです。

これにより、次のように連結業績予想を修正いたします。

①平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,920	△230	△390	△400	△18.72
今回修正予想 (B)	17,940	△260	△470	△390	△18.25
増減額 (B-A)	△980	△30	△80	10	
増減率 (%)	△5.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	17,684	△396	△440	△368	△17.26

②平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,900	2,100	1,830	1,180	55.22
今回修正予想 (B)	42,000	1,900	1,570	980	45.86
増減額 (B-A)	△1,900	△200	△260	△200	
増減率 (%)	△4.3	△9.5	△14.2	△16.9	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	40,253	1,143	1,014	448	20.99

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社では税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,091	6,284
受取手形及び売掛金	11,723	8,557
商品及び製品	5,909	6,029
仕掛品	3,318	3,469
原材料及び貯蔵品	2,742	2,760
繰延税金資産	615	511
その他	1,081	1,166
貸倒引当金	△62	△59
流動資産合計	31,418	28,719
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,108	4,076
その他(純額)	4,835	4,706
有形固定資産合計	8,944	8,783
無形固定資産		
のれん	236	211
その他	1,907	1,897
無形固定資産合計	2,144	2,109
投資その他の資産	1,609	1,865
固定資産合計	12,698	12,757
資産合計	44,116	41,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,833	3,419
短期借入金	11,839	12,227
1年内返済予定の長期借入金	2,909	2,739
未払法人税等	158	59
賞与引当金	873	470
製品保証引当金	138	128
その他	3,679	3,456
流動負債合計	23,431	22,501
固定負債		
社債	35	35
長期借入金	4,597	4,203
製品保証引当金	39	45
退職給付に係る負債	1,000	973
その他	584	571
固定負債合計	6,257	5,829
負債合計	29,688	28,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,388	6,388
資本剰余金	6,402	6,402
利益剰余金	4,112	3,384
自己株式	△772	△772
株主資本合計	16,130	15,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	10
為替換算調整勘定	△2,481	△3,007
退職給付に係る調整累計額	652	636
その他の包括利益累計額合計	△1,816	△2,360
非支配株主持分	113	103
純資産合計	14,427	13,146
負債純資産合計	44,116	41,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,285	7,944
売上原価	4,719	4,564
売上総利益	3,565	3,380
販売費及び一般管理費	4,130	3,976
営業損失(△)	△565	△596
営業外収益		
受取利息	12	2
為替差益	53	—
受取地代家賃	6	7
その他	4	10
営業外収益合計	77	20
営業外費用		
支払利息	54	47
持分法による投資損失	16	13
為替差損	—	35
シンジケートローン手数料	5	50
その他	14	25
営業外費用合計	89	171
経常損失(△)	△577	△747
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△573	△746
法人税、住民税及び事業税	75	31
法人税等調整額	△183	△200
法人税等合計	△107	△168
四半期純損失(△)	△465	△578
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△467	△578

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△465	△578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△0
為替換算調整勘定	246	△530
退職給付に係る調整額	△21	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△3
その他の包括利益合計	230	△550
四半期包括利益	△234	△1,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237	△1,121
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	3,247	948	184	723	5,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	601	48	12	656	1,318
計	3,849	996	197	1,379	6,423
セグメント利益又は損失(△)	△300	△9	△2	12	△300

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	852	733	1,457	137	3,180	—	8,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,055	0	0	983	2,039	△3,358	—
計	1,907	733	1,457	1,121	5,220	△3,358	8,285
セグメント利益又は損失(△)	66	△56	169	△62	116	△381	△565

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△381百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△391百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	3,247	669	186	691	4,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	429	42	11	508	992
計	3,677	711	198	1,200	5,788
セグメント利益又は損失(△)	△445	△10	△8	26	△438

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	994	862	1,164	128	3,149	—	7,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	939	0	—	919	1,859	△2,852	—
計	1,933	862	1,164	1,048	5,009	△2,852	7,944
セグメント利益又は損失(△)	△12	△61	10	4	△59	△98	△596

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△98百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△342百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。